

ヤマノイモの日射制御型拍動自動灌水装置による 高品質栽培技術

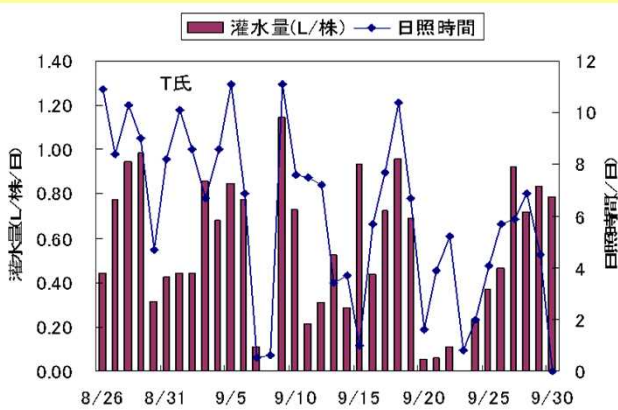
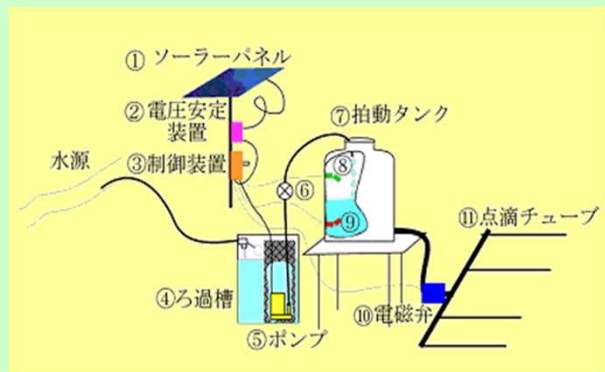
【背景・目的・成果】

ヤマノイモの栽培は気象条件、特に降雨量に影響されやすく、収量、秀品率の年次変動が大きい品目です。そこで、日射制御型拍動自動灌水装置を使用して点滴チューブで灌水すれば、日射に比例して植物が必要な時に灌水され、土壤水分の変動も少なくなり、収量及び秀品率が向上します。

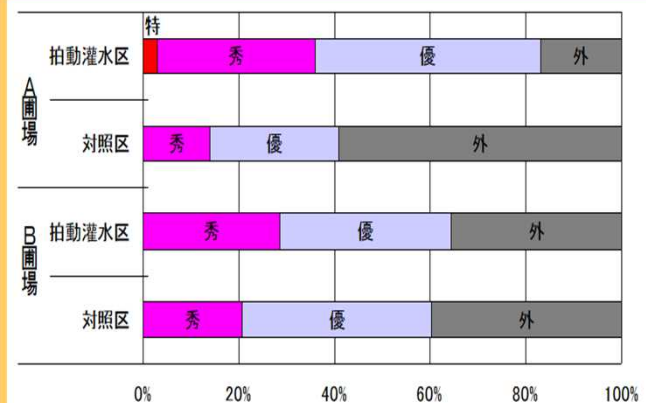


日射制御型拍動自動灌水装置の設置状況

灌水装置は、日射により小型ポンプでタンクに揚水され、満水になると自動的に灌水するしくみ。マルチと組み合わせて栽培すると、土壤水分がより適湿状態で保たれ、ヤマノイモの収量が増加する。



日照に連動して灌水量が増減



ヤマノイモの等級比率

【技術の活用】

日射制御型拍動自動灌水装置の導入経費は、10a当たり約20万円、減価償却を装置は5年、塩ビ管、点滴チューブなどを3年とすれば、年間約8万円の経費がかかります。一方、装置の導入効果により年14万円程度の収益増加が見込めます。